

▽協働のまちづくり支援活動補助制度について

この制度は新設であり、目的は多様な発想に基づき、町民意識や地域の実情に即して自主的、主体的に行う公益性、公共性の高い活動に対して、町が支援することによって、町民と協働のまちづくりを推進することとなっている。また補助金を活用する事でNPO法人等の新しい団体の立ち上げ、既存団体の新しい公益的、公共事業等、地域の課題解決に向けた新たな協働の取り組みを支援することも目的となっている。

対象者の要件は、3名以上の町内在住者又は町内に勤務する20歳以上の者で組織された団体としている。
▽幌延町家畜伝染病救済対策互助会への支援について

平成29年5月29日。町はJA幌延町営農部を事務局として設立された、幌延町家畜伝染病救済対策互助会への支援を決定した。

本町では、平成12年から防疫対策に取り組んでいたが、平成27年から2年連続

して牛サルモネラ症が発生した。

幌延町家畜伝染病救済対策互助会では、自助、公助の精神に基づき、発生農場、互助会会員、JA幌延町がそれぞれ互助対象費の25%を負担することとしているので、町も同様の割合で互助会へ支援を行うこととした。

▽幌延町酪農・肉用牛増産近代化施設整備事業について

事業の概要は、補助対象経費を除いた自己負担額としている。自己負担額が一定額以上を超えた場合に、2分の1以内で上限額を設定して、補助する事業。

問 平成36年3月が期限となっているが、期日的に厳しい部分がある。猶予等、十分協議してほしい。

答 利用状況等を見ながら、今後検討を進める。

問 固定資産税の免除又は軽減する措置はないのか。

答 そこまでは考えていない。

全道町村議会議員研修会

7月4日、札幌市コンベンションセンターにて研修会が開催された。

講師は、テレビ、ラジオなどでお馴染みの慶徳義塾大学教授金子勝氏。日本の経済分析とトランプ政権、地域経済の影響について触れられた。アベノミクスと日本銀行の低金利政策の失敗、4百20兆円の国債発行は、戦中時期とほぼ同状況であり、2年間で2%の物価上昇によるインフレ政策

でデフレからの脱却を政府、日銀は目指したが、失敗している。実質賃金も上らず、家計消費も増えていないことを指摘した。

次にNHK解説副委員長 島田敏男氏は、東京都議会選挙と安倍政権の分析をスライドを使って解説し、なぜ東京都議選で自民党が歴史的な大敗をしたのか、安倍政権の無党派層の取り込みの失敗と、「都民ファースト」への票の移動について分析した。また民進党と共産党などの野党共闘にも触れた。



編集後記

6月上旬は天候に恵まれて農作業も順調に進んだようですが、6月下旬から7月にかけては、天候不順の日が続く、もどかしい思いをしているのではないのでしょうか。

全道的には晴れの日が続いているのに、どういうわけか天北地域だけが曇天や雨降りが続いています。昨年とは打って変わった天候です。

いくら頑張っても自然の流れには敵わない。じつと大地と今を見つめて、より良い方向を見出したものです。



編集委員長 西澤 裕之
副編集委員長 鷺見 悟
編集委員 吉原 哲男
高橋 秀之